

◇ 仲井間 宗 利 議員

○ 3 番（仲井間宗利） おはようございます。村道（農道、林道）維持管理について。①各地域の議員から一般質問で、集落内の側溝や道路の亀裂、崩壊等が質問されているが、その後の状況は。

②国道、県道は改良、修繕工事が進められているが、村道も数年かけて施工されてきた道路です。村が管理する道路も改良、改善工事が必要ではないか。

③以前に施工した道路が白線が消え、樹木も生い茂り車両等の走行に危険な状態です。対策などは考えているのか伺います。

2、旧村道、道路の整備について。①旧村道ですが、現在も村の水道管が通り、現地は、字大宜味960番地付近です。最近村外から移住されて住宅が建築されていますが、道路が悪く雨降りのときには乗用車などが上れない状態です。修繕工事はできないのか伺います。

3、各字の掲示板の設置について。①村内の何か所かの字で掲示板が老朽化し壊れています。平成11年ごろつくられたそうです。つくり替えはできないのか、伺います。

○ 村長（宮城功光） お答えいたします。

まず1点目の村道につきましてですけれども、①で今年度予算で対応できる箇所については、優先度を考え修繕を行っております。例えば村道においては、喜如嘉線の側溝蓋の隙間改善や屋古集落のへこみの修繕、田嘉里線道路拡幅など行っております。

②については、道路の改良改修は必要と考えます。村道については、現在も改良工事などを計画的に行っているが、国庫補助金事業における予算配分の鈍化で事業の遅れが懸念されるところです。

③村道の白線等の状況について確認はしておりますが、今後どのように事業化していくか検討中です。

それから2点目の旧村道、道路の整備についてのところですが、①で旧饒波石山線のこととしてお答えします。村道の位置づけはなく、新路線に変更されたときから里道同様の管理として考えております。ただ、その位置づけについては水道管が埋設されており、その管理の観点から水道管の管理に必要程度の里道管理として行っており、現時点で工事などによる改良予定は考えておりません。

次の3点目の掲示板等なんですけれども、現在、行政区に設置されている掲示板は平成11年度にコミュニティ助成事業を利用して設置され20年

が経過しており、御指摘のとおり一部の行政区にある掲示物は経年により劣化しております。本村としましては、再度コミュニティ助成事業にてつくり替えを実施したいと考えますが、近年実施しているコミュニティ助成事業では、各行政区の放送器具や防災用具の整備に充てております。したがって、まずは区長会において、掲示板の取替えに対する要望や優先度を確認したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○ 3 番（仲井間宗利） いろいろ村長のほうからありましたけれども、①のほうは状況のことで、それでいいと思います。

②の国道、県道の改良とかというのが出ましたけれども、ちょっと改良と修繕の意味を調べてきましたので、改良というのは高齢者、障害を持った人たちに優しい生活環境にするための整備やバリアフリーをつくる工事のことと言われております。修繕工事は老朽化した道路のアスファルトのメンテナンスを行ったり、標識やガードレールなど新しいものに取り替えるような道路の修繕等を目的としておりますということで、私のほうも修繕のほうに問い合わせたんですけれども、やっぱりつくって老朽化もしていますし、やっぱりその当時の考えと、現在のお互い生活する面では変わってくると思いますので、なぜそういったことを言ったかというのは、

先ほど村長からありましたけれども、各地域の側溝とかそういうものをつくり替えするということですが、それよりは前もって大きな、大きいというか、将来を見据えた工事でやってもいいのかなと思って出しました。その点についてまたお答えを聞きたいと思います。

○ 建設環境課長（新城 寛） 仲井間議員の御質問にお答えしていきたいと思います。

まず、村道についてですね、かなりこれまで整備してきた道路については古い部分も出てきているかと思っています。現在、村道のほうで改築事業が1路線、根路銘上原線で今行っている事業ですが、今後、その事業等を考えながら、優先順位をつけながら計画的に各路線の整備を行おうと考えているところではございます。ただし、最近道路事業において予算のつけ具合がかなり厳しい部分がありまして、我々として毎年1億円余りの予算計上を行っているわけですが、なかなか国庫補助事業の採択の金額が上がってこないのが現状でございます。さらに先ほど話しされていた改良、改修について、修繕とかですね。そこら辺についてもできるだけやっていきたいというふうに考えているところです。そこについては、今後財政側とも相談しながら、優先順位をつけながらやっていきたいというふうに思

っているところです。

○ 3 番（仲井間宗利） そういう将来的なことを考えていると。③のほうに移りたいと思います。

それも関連してきますけれども、白線が消えて、樹木もやっていますけれども、もし事故とかそういうものがあれば、お互い村民も非常に危険にさらすのではないかということで出しましたけれども、その点について対策があれば聞きたいと思います。

○ 建設環境課長（新城 寛） 白線部分に関して、かなりの路線で白線のほうが消えていく状況にあるということは、我々のほうも確認はしております。1 路線ずつやっていこうかと思えますけれども、かなりの予算がかかります。その中で、市町村の事業、補助事業ではございますが、その中にも幾つかのパッケージがありまして、交通安全対策に必要な、先ほどの区画線とかですね、そういう事業がございます。ただし、なかなかこれも予算のつけ具合がかなり厳しい部分と、あと全体的にもう一度計画を練り直してやっていきたい。その中でどうしても必要な部分に関しては補助事業ではなく、何とか予算化してやる方法でできればやっていきたい。も

しそれでも駄目であれば、自分たちででも何とか引ける部分に関しては引くこともできますので、そこら辺については、今年も予算化している部分に関してやっていく予定でございます。これについては、江洲の集落道の中ではございますけれども、その白線あたりは自前で、建設課のほうでやっていこうかなと考えているところではございますが、どうしても引かないといけないところに関してはこのように自前で何とか交通安全対策としてやっていきたいと考えております。

○ 3 番（仲井間宗利） 行政のほうでも前向きな答弁をもらいましたので、ありがたいことだと思います。

次に旧村道道路の整備について。先ほどは村長から言われましたけれども、旧村道ですので、その中に水道が通っております。そこに土地を求めて買った人が住んでいるんですけど、その買った時点では車が上れる状況ではありませんでした。私もちょっとお願いされて、こっちに道造りたい、どうですかということでありましたので、見たらそういう状況でしたので、水道課と相談して、これ何とかできないですかと言ったら、結局水道が通っているわけですから、管理をする意味でこれはやらないといけないなということでちょっとした予算をいただいて、自分が道を通れるように、車

が走れるようにはしました。だけどああいう状況ですので、写真も添えていますけれども、やっぱり雨が降ると上りづらい。結局村道ではありませんので、道路のあれはできないということを言われましたけれども、けど水道が通っているわけですので、村も管理する義務があるだろうということを出しております。車が、ここに住んでいる人は上れないものですから、4WDを1台買って雨降りは通っていることを聞いております。でも、大宜味村も人口をいかに増やそうかということで政策しておりますので、村外より住所を移してくるということはあるがたいことですので、自分たちは協力してそういうことをやっております。もう一度、踏み込んで、車がスムーズに走れるような工事というか、そういう対策ができないのかどうか伺いたいと思います。

○ 建設環境課長（新城 寛） 議員御指摘の状況ですけれども、建設課及び村としての考えとしては、住所を有して、通常の生活根拠がある場合、現場の状況を確認しながら修繕を行うかどうか、そういったことを考えているところではございます。議員御質問の現場なんですけれども、先ほど村長が述べたように旧饒波石山線の道路で、実際的には道路としては廃道になっている部分です。里道扱いというところではありますけれども、地

番が降られていて里道じゃないところもあります。実際に村有地、饒波石山線、石山の十字路あたりの近くのものに関しては、村有地からの進入になっていて、そこもまた本人とお話をしながらやっていかなければいけないのかなと。村有地から以前は饒波石山線が通っておりました。そこら辺も考えながら、あと水道管も確かに、昔の村道饒波石山線のほうから水道管が走っております。現在もその水道管を使っておりますので、その管の管理を考えると、やはりその道路というか、管理用道路としての管理を行わないと、北側の水を確保できないというものもありますので、そこら辺に関しては状況を見ながらやっていこうかなと思っているところです。

それで里道管理はもちろん村のほうで見ているわけですがけれども、そういった状況の中で、里道を全て管理するというふうになると、なかなか予算上も時間的、そういうことがなかなかできないです。移住者等々、最近村内に何件かそういう話もございます。里道があるからできるだろうと。そういうことはなかなか難しいところと、そこら辺も完備しながら、我々も住宅地以外に建物を建てる場合によくお話をしているんですけれども、分かっていただけない人も中にはいます。ですからそこら辺も注意しながら、先ほどの里道管理というか、そこら辺の管理はやっていきたいと思っていますところ。



○ 3 番（仲井間宗利） 今、建設課長が言われましたけれども、多分そこもあるだろうと思いますけれども、実はこっちに2軒住んでいるんです。1軒側が住んだときにアスファルトもできているわけです。全線ができなければ、今住んでいるところまででもやっていただければ非常にありがたいかなと思っております。上のほうは行ける状況でありませんで、その住宅の前までをやっていただければ非常にありがたいかなと思っております。その点よろしくお願いしたいと思います。

3、各字の掲示板設置についてなんですけれども、村長から答弁がありました、区長会のほうでも何か話が出ているそうです。これを私がなぜ出したかというのは、要するにコミュニティー事業ということで20年前に入れたそうですけれども、結局、通達漏れというのは大体行政のほうから多いですね、この掲示板に貼るのは。別のところもあるんですけれども、それを踏まえるとやっぱり行政がそういう事業をするのがいいのではないかということで出したんですけれども、何かちらっと聞いたらよその部落はやったとかやらなかったという話もあるんですけど、これはあくまでも行政から来るいろんなお知らせを掲示板にするわけですので、ぜひ村長がおっしゃったとおり、そういう事業を入れてやっていただければ。みんな

がみんな壊れていないと思います。そのつくる場所にもよると思います。  
早く朽ちるとか、ちょっと家の軒にあれば長持ちするとか、そういうのが  
ありますので、次やるときにはそういうことも考慮しながらやってはどう  
ですかという、じゃないかなと思っております。これについて、また再度  
聞きたいと思います。

○ 総務課長（知念和史） お答えいたします。

先ほど村長のほうからもコミュニティー事業のほうで整備したという  
ことはお話がございましたが、現在、コミュニティー事業のほうも各区の  
ほうで、現在要望が上がって待っている、待っているというんですかね、  
要望が上がっているんですが実施できていない区もございますので、そこ  
ら辺をやはり区長会全体としてコミュニティー事業として上げていくの  
であれば、その優先順位のほうを、どちらのほうを先にするのかというの  
を含めまして、区長会のほうで一旦話をさせていただいて、区長会として  
事業を上げていくのか。また今予定されている区において先に行って、こ  
の掲示板のほうをやっていくのかというのはですね、また全体の中で話し  
合いをして決めていきたいと思っております。